

(2023/7/30 (日)) 令和5年度つるおか森の時間
水を巡る旅～赤川水系～ 森林散策と水質調査体験 活動報告



【開会式：鶴岡市役所】

市役所で開会式を行いました。

天気は晴れ。気温が高いため、熱中症に気を付けながら出発します。

なお、今回もフードドライブの受付を行いました。

ご協力いただき大変ありがとうございました。



【水質調査：赤川河口】

普段身近に関する赤川ですが、参加者のみなさん河口に来るのは初めての方が多かったようです。

河川周辺の状況確認の後、気温・水温を計測し、河川の水で共洗いしたペットボトルに採水しました。



【水質調査：赤川河口】

採水した水を使って、パックテストで水質を調査します。

pH、COD、アンモニア性窒素、亜硝酸性窒素、硝酸性窒素、リン酸性リンの6項目を測定しました。



【森林散策：赤川河口】

水の透視度についても調査しました。

透視度計に河川の水を入れ、少しずつ水を抜きながら、底に記されている印が見えるようになる高さを読み取ります。



【森林散策：庄内海岸林】

赤川河口の水質調査の後は、庄内海岸林を散策しました。

風は通りませんでした、河口に比べると暑さが和らいでいました。

(2023/7/30 (日)) 令和5年度つるおか森の時間
水を巡る旅～赤川水系～ 森林散策と水質調査体験 活動報告



【森林散策：庄内海岸林】

赤川河口付近の海岸林は砂丘の一部となっているようです。そのままにしていると砂丘が陸地に向かって広がってしまいますが、このクロマツ林がそれを食い止める重要な役割を担っています。



【地下水の活用についての解説：竹の露酒造】

同じ水の活用として、地下水の活用について竹の露酒造さんより解説をいただきました。



【地下水の活用についての解説：竹の露酒造】

竹の露酒造さんの仕込み水は、月山からの伏流水を使用しています。

このお水はコラーゲンの構成を助けるシリカという成分多く含んでいる天然水で、美肌に最適な水なのだそうです。



【地下水の活用についての解説：竹の露酒造】

解説いただいたお水は販売もされていますが、駐車場に設置されている井戸やぐらにて、どなたでも無料で汲ませていただけたとのことでした。

早速飲ませていただき、調査で汗をかいた体に美味しくしみわたりました。

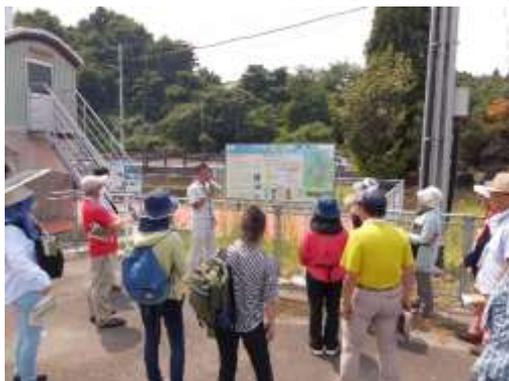


【昼食：創造の森交流館】

創造の森交流館のレクチャールームをお借りして、お昼休憩をとりました。

庄内平野を一望しながらお弁当をいただきました。

(2023/7/30 (日)) 令和5年度つるおか森の時間
水を巡る旅～赤川水系～ 森林散策と水質調査体験 活動報告



【河川水の活用についての解説：赤川頭首工】

赤川頭首工において、赤川の水の農業用水としての活用について、庄内赤川土地改良区さんより解説を伺いました。赤川頭首工では、農業用水の取水が行われており、雨量や河川の水量の状況を見ながら、取水量を調整されているとのこと。



【河川水の活用についての解説：赤川頭首工】

今回は庄内赤川土地改良区さんのご案内のもと、頭首工の上部も歩かせていただきました。



【河川水の活用についての解説：赤川頭首工】

赤川頭首工には魚道も整備されており、魚が通れるようになっているようです。なお、本来はここで水質調査も行う予定でしたが、熱中症を予防するため、河川周辺の状況確認と採水のみ行い、水質の調査は次の山形大学附属演習林において実施することとしました。



【水質調査：山形大学附属演習林管理棟】

山形大学附属演習林の管理棟において、管理棟前を流れる早田川（赤川の上流部）で採水した水と、先程の赤川頭首工で採水した水の水質調査を行いました。朝から暑い中での行程が続きましたが、参加者の皆さん熱心に調査をしてくださっておりました。



【水質調査：山形大学附属演習林管理棟】

透視度計で上記の2種類の水の透視度を比較しました。調査の結果、赤川の水は河口、頭首工、上流部（早田川）のいずれも綺麗な水であることが分かりましたが、上流部（早田川）の水の透視度は他の2地点に比べて大分澄んでいることが分かりました。

**(2023/7/30 (日)) 令和5年度つるおか森の時間
水を巡る旅～赤川水系～ 森林散策と水質調査体験 活動報告**



【ふりかえり：山形大学附属演習林管理棟】

水質調査の後、水と森林の関わりについて学びました。雨により森林へ降り注いだ水は、河川への流入のほか、空気中へ蒸発したりしますが、土壤に浸透して濾過され、地下水といった形でも流れてきています。土壤に浸透するためには、土に隙間が必要で、昆虫等が開けた穴のほか、植物の根が開けた穴などが、水が浸透する道になっているようです。このような土壤がある本市の豊かな森林が、水の豊かさを守っているのだそうです。



【ふりかえり：山形大学附属演習林管理棟】

今回の水質調査において、赤川の水は上流部～下流部まで通じて綺麗な水であることを、身をもって知ることができました。今回の調査結果は、調査資材の提供などご協力いただいた美しい山形最上川フォーラムさんへ提出し、「身近な川や水辺の健康診断」として公開される予定となっております。

この「身近な川や水辺の健康診断」は誰でも参加でき、調査キット等もご提供いただけるとのことです。ご興味のある方は、是非、美しい山形最上川フォーラムさんへお問い合わせください。

1日通して暑い中での開催となりましたが、参加者の皆様、大変お疲れさまでございました。

また、ご協力いただきました皆様大変ありがとうございました。とても有意義な時間を過ごさせていただきました。